

見附市幼保小架け橋期のカリキュラム【新潟保育園・田井小学校】

①架け橋期を通して期待する子ども像		＜見附市教育委員会の基本理念＞																							
		ふるさと見附を愛する子ども												世に役立つことを喜びとする子ども											
対象		5歳児												1年生											
②遊びや学びのプロセス		【学びの芽生え】 遊びや体験を通して、未知のことや分からないことを自分なりに考え、自分自身で納得するまで探究し続ける。(なんだろう…、やってみたい、できた、ねえみてみて、〇〇したいな、それいいね、どうするの)												【自覚的な学び】 生活科を中核として、自ら問いをもち自分自身で納得するまで探究し続ける。(あっ、こういうことか、もっと知りたいなやりたいな、こうしたらどうかな、みんなとやると楽しいな、やった、よかった)											
時期		ア プ ロ ー チ カ リ キ ュ ラ ム												ス タ ー ト カ リ キ ュ ラ ム											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
④園での活動・小学校での教科学習等		○当番活動や身の回りのことを自分で行い、責任を持って取り組む。 ○絵本や物語に親しみ、感じたことを友だちや保育者に伝える。 ○ルールを守りながら友だちと一緒にあそぶ。 ○身近な自然や生き物に興味を持ち、観察したり世話をする。												記入例② ○いちねんせい はじまるよ ○なつともだち ○いきもの なかよし ○ふゆともだち ○なかよしいっぱい がっこうたんけん さいてほしいな わたしのはな ○にこにこ だいさくせん ○もうすぐみんな 2年生											
③指導上の配慮事項	保護者と保育士・教師のかかわり方	◇子どもと共に考え工夫したり、挑戦や失敗を楽しんだりする中で、子どもの主体的に遊ぶとする気持ちを支える。 ◇一人ひとりの気付きや考えを需要し、言葉にして他の児童に伝わるようにする。「〇〇さんはこう思うんだって、みんなどう思う？」 ◇子どもたちの思いや願いを受け止めつつ、友達と相談したり協力したりできるように支援(促す・見守る)する。 ◇自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを聞いたりする場を大切にする。												◇園での経験を引き出す投げかけから、子どもと問いをつくり、「やってみたい」「しりたい」「できるようになりたい」と児童が主体的になる学習を工夫する。 ◇子どもの発言・つぶやきから、一人一人の成長や取組過程の様子を認め、学級全体に広げ共有する。											
	環境の構成、環境づくり	◆子どもたちがやりたがっていることを見取り、主体的な遊びが展開できるような環境を構成する。 ◆学校教育の資質・能力の育成につながる多様な体験を保障する。 ※活動の理解者、共同作業者、共鳴者であり、子どもにとってあこがれのモデル、遊びや課題解決の援助者となる。												◆自由に思いを伝え合う場や雰囲気をつくり、言葉で伝え合う楽しさを感じられる場を設定する。 ◆経験や想像したことなどから、書くこと話すことを見つけ、ICT機器を活用しながら、伝える場面を設定する。 ◆自由に試して遊んだり、くつろげる時間や場所を設定する。やりたい、知りたい気持ちを引き出す図書・視聴覚資料を設置する。 ※教師の「やりやすい型にはめる」のではなく、子どもの思いを大事にする。											
⑤園と学校の子どもの同士の交流		○園、小学校の行事や活動を見学に行く。(随時) ○園や小学校の行事に招待し合う。(随時) ○小学1年生がおもちゃを作って園訪問し、年長とあそぶ。(10月) ○就学時健診で、年長と小学生が交流する。(10月) ○体験入学で、年長と小学1年生が交流する。(2月)												学習参観 ～全校から学ぼう～ 幼児種目を設けた運動会 年長さんとの交流活動 体験入学会 小学校探検サポート 新1年生への小学校紹介動画作成											
⑥保育士と教師の連携		○園、小学校を互いに職員が参観し、意見・情報交換会を行う。(年2回) ○小学校職員が保育園を訪問し半日いっしょに過ごす。(8月) ○次年度の架け橋カリキュラムについて協議する。(3月) ○園便り、学校便りを互いに送付し、園、学校の様子などを共有する。(随時)												園、学校経営方針の交流 授業参観1 意見、情報交換 園参観1 意見、情報交換 授業参観2 意見、情報交換 園参観2 意見、情報交換											
⑦家庭・地域との連携		○架け橋期のカリキュラムを保護者に配付し、小学校入学準備を促す。 ○保護者の進級に向けての不安や心配などを、進級先の小学校と共有する。 ○保育参観や園の行事を家庭、地域に発信し、園の様子を周知したり、一緒に参加してもらう。 ○地域の施設や地域行事に参加し、交流する。												○保護者へ架け橋カリキュラムの理解と教育活動の連携した取組 ○各期における子どもの活動状況についての情報発信 ○生活科を主とした各教科への学習支援協力要請 ○学習支援への感謝を伝える活動の実施											